

個人投資家の皆様へ 三井物産会社説明会



mitsui & co.

2020年6月
三井物産株式会社 IR部
証券コード:8031

目次

1. 会社概要

2. 新中期経営計画

3. 株主還元

1.会社概要

挑戦と創造のDNA



眼前の利に迷い、
永遠の利を忘れるごときことなく、
遠大な希望を抱かれること望む。

旧三井物産 初代社長 益田孝

志を受け継ぎ、価値創造に挑み続ける

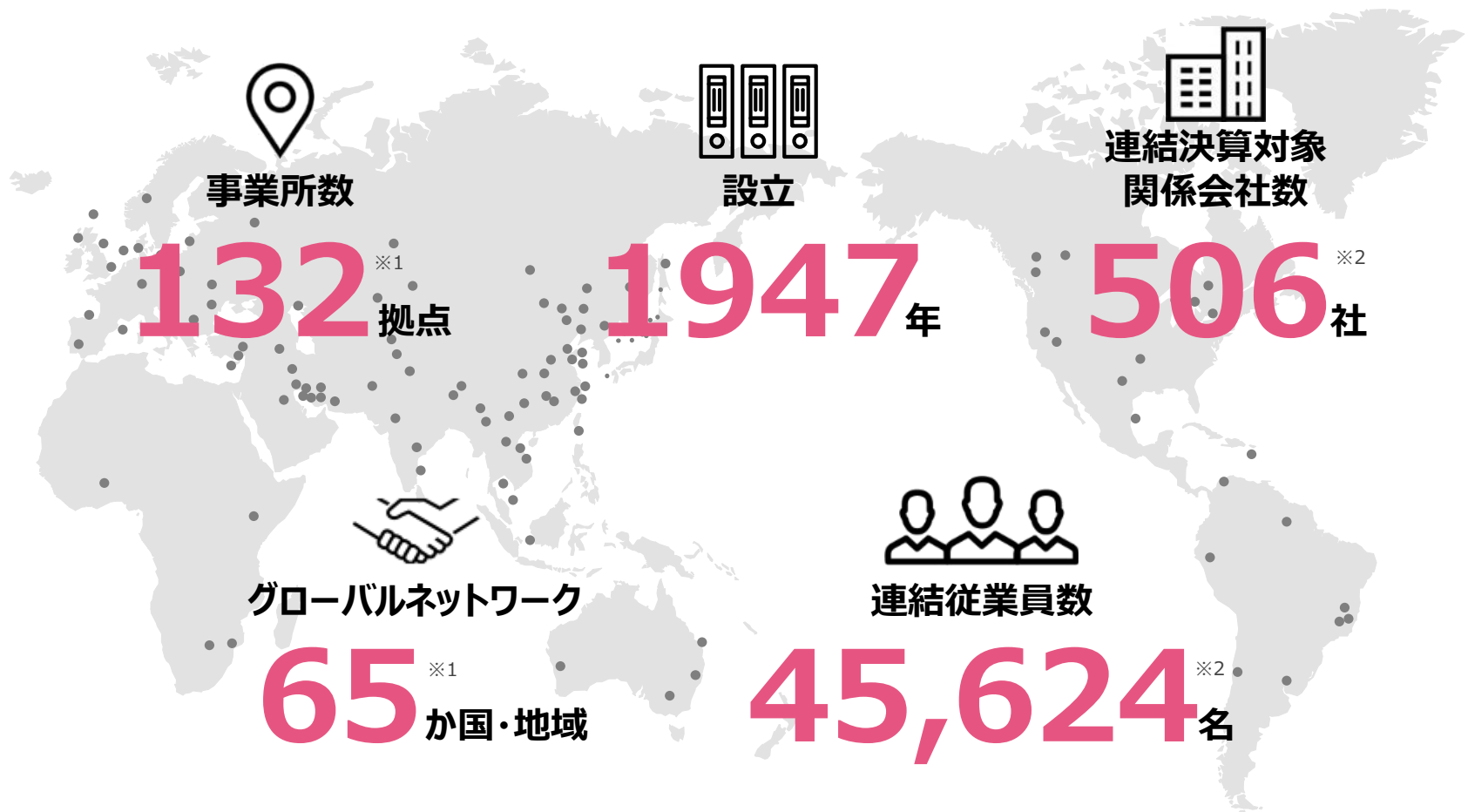
人が仕事をつくり、
仕事人が人を磨く。

三井物産 元会長 橋本榮一

三井物産の社員は
高い使命感のもとに
常に勇敢であれ。

三井物産 元会長 水上達三

数字で見る三井物産

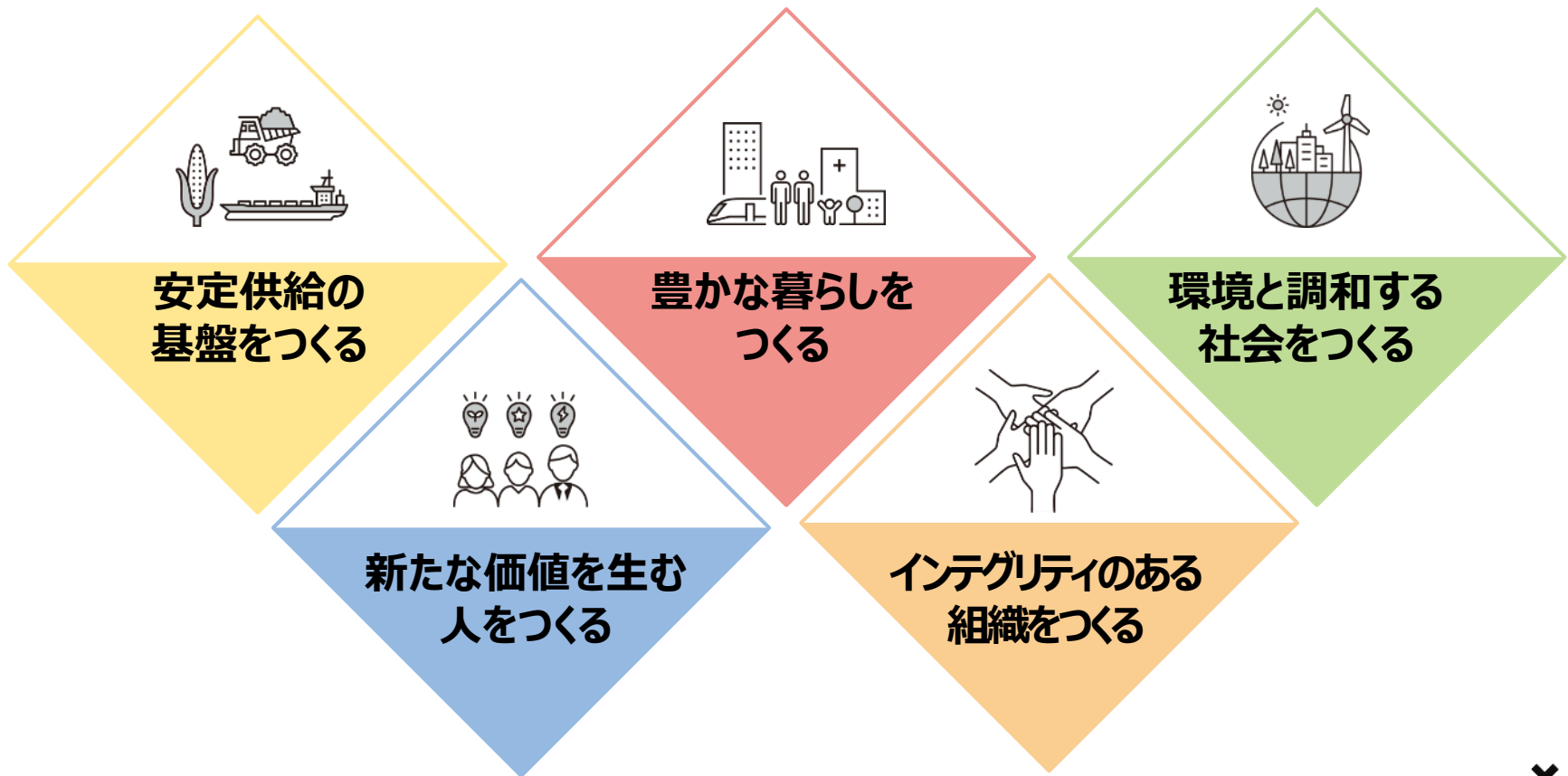


※1 2020年4月1日時点
※2 2020年3月31日時点



三井物産が目指すもの(マテリアリティ)

ESG(環境・社会・ガバナンス)や国連「持続可能な開発目標(SDGs)」等、サステナビリティの重要性は高まっており、変化するメガトレンドを踏まえて2019年4月に見直し



事業分野 (資源、社会インフラ)

金属資源

鉄鉱石、石炭
銅、ニッケル
環境リサイクル



石炭・ 社会インフラ事業

Moatize炭鉱・
Nacalaインフラ・
モザンビーク

自動車リース・レンタル事業

Penske Truck Lease・米国



機械・インフラ

電力、海洋エネルギー
ガス配給、社会インフラ
自動車、交通、船舶



ガス配給事業

ブラジル

石油・ ガス事業

Kaikias・メキシコ湾



鉄鉱石事業

West Angelas
鉄鉱山・豪州



エネルギー

石油、天然ガス/LNG
石油製品
環境・次世代エネルギー



LNGプロジェクト

サハリンⅡ・ロシア

事業分野（素材、生活産業、次世代・機能推進）

化学品

石油化学・無機・合成樹脂
農業資材、飼料添加物
タンクターミナル

塩事業

Shark
Bay Salt・
豪州

生活産業

食料・食品
ファッション・繊維、リテール
ヘルスケア
アウトソーシングサービス

エビ・養殖加工事業

Minh Phu社・ベトナム

セブン&アイHOLDGS との取り組み 重慶

自動車 プレス部品事業

Gestamp社・
スペイン

病院事業

IHH社・アジア

TV 通販事業

QVC 社・日本

飼料 添加物事業

Novus社・米国

鉄鋼製品

インフラ鋼材、自動車部品
エネルギー鋼材

高齢者向け 住宅事業

MRE社・米国

次世代・機能推進

情報システム
アセットマネジメント
不動産、保険、リース
ベンチャー投資
物流センター

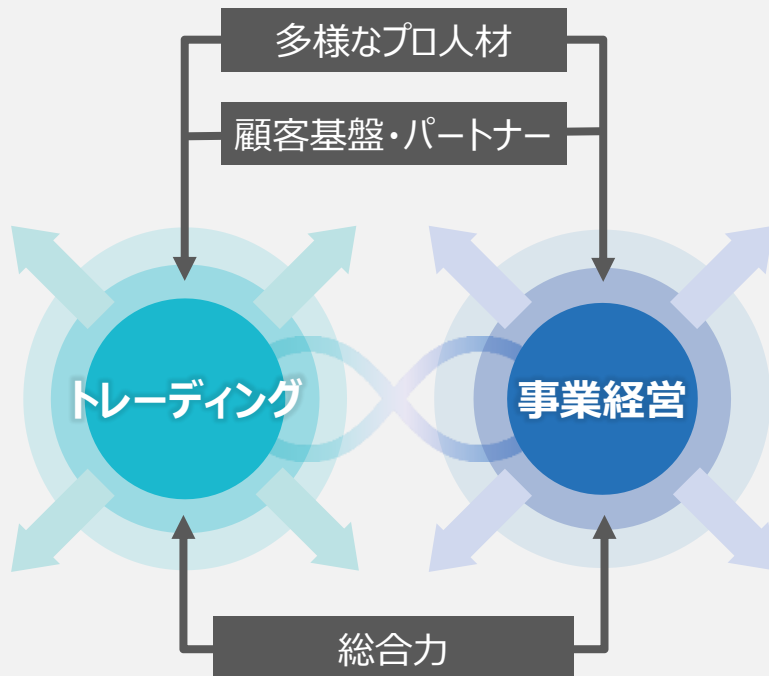
鋼材・加工販売事業

Steel Technologies社・米国

リアルアセット保有・運営事業

CIM社・米国

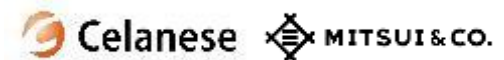
ビジネスモデル



- ◆ トレーディングで培った業界知見、ネットワーク等から生まれる事業投資
- ◆ 投資先の経営へ携わり、事業価値を向上
- ◆ 「総合力」と「プロ人材」が持続的成長を実現

メタノール事業

パートナー



トレーディング



事業経営

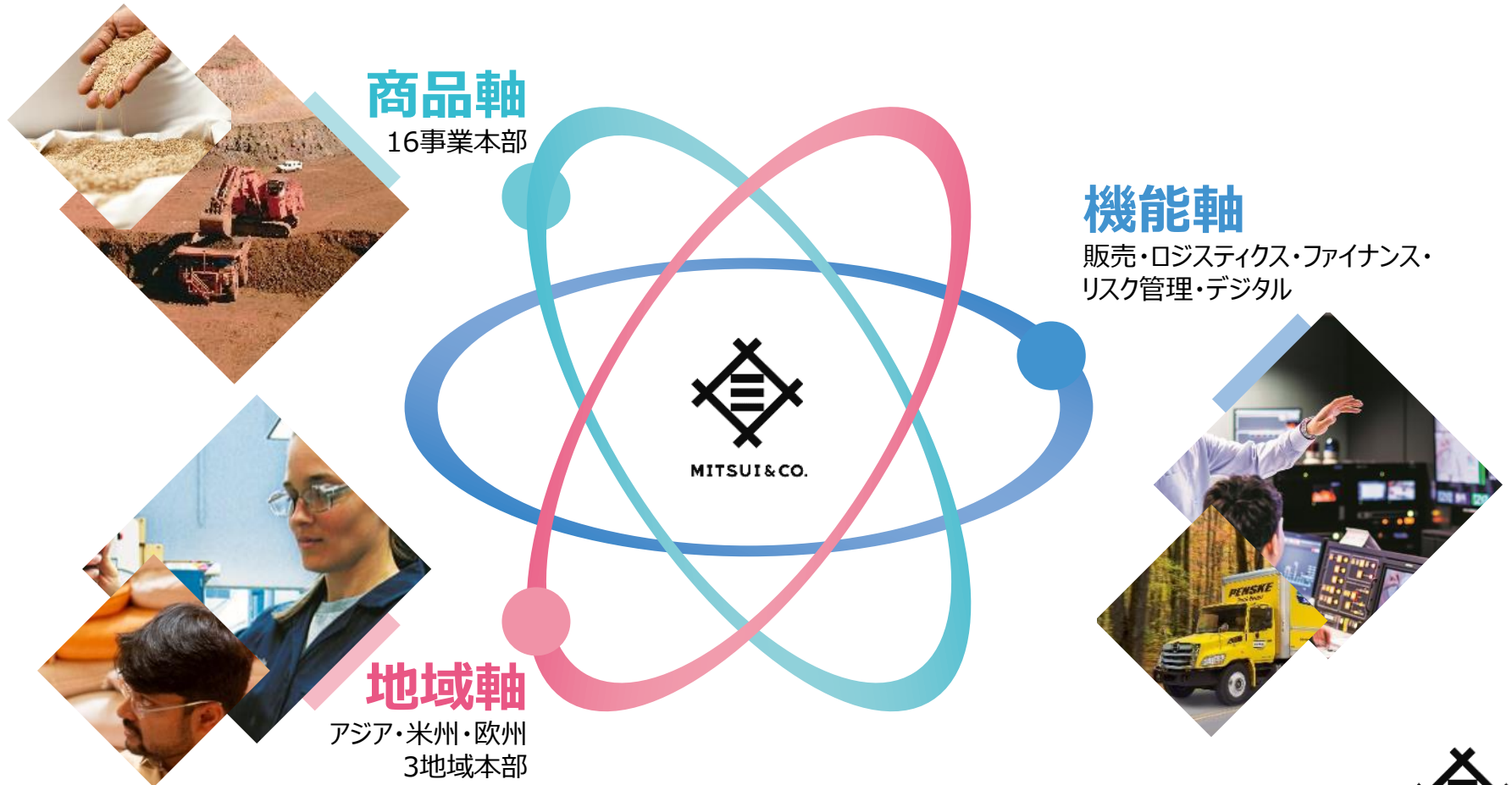


- ◆ メタノールを含む石油化学品トレーディングにおける長い歴史と実績
- ◆ 製品の販売力を梃子に米化学メーカー・Celanese社をパートナーに北米メタノール製造事業へ参画



三井物産の総合力

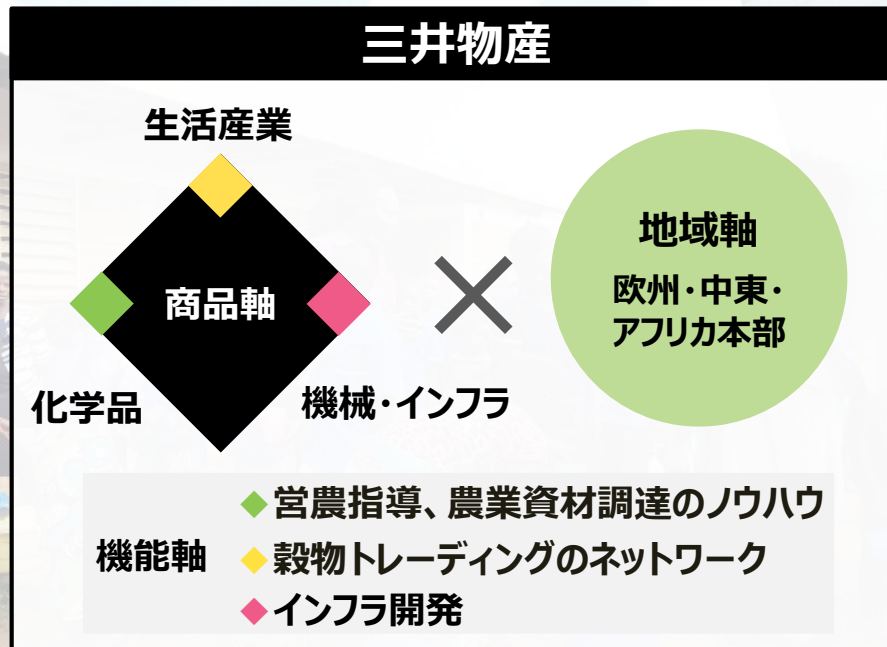
各事業本部が蓄積し、築き上げた各商品や各地域の地場の情報・知見やノウハウを組織の枠を超えて共有、応用するとともに、総合商社としての機能をかけあわせて、事業の価値を創出する



アフリカでの取り組み事例

アフリカが抱える食料課題

- ◆天候不順に伴う農作物の不作
- ◆過耕作、不適切な土地利用による土壌の劣化
- ◆小規模農業の生産効率の低さ
- ◆灌漑設備の不足



- ◆ 200万戸以上の農業ネットワーク
- ◆ アフリカ域内の強い基盤
- ◆ 幅広い事業・製品ポートフォリオ

生産性向上、事業多角化による経済発展への寄与

2.新中期経営計画

変革と成長

課題

- ◆ 既存事業の更なる収益性向上
- ◆ 当社の総合力が活かせる領域での収益の柱確立



対応

- ◆ 激変する事業環境に機敏に対応すべく、社員一人ひとりが自らを変革させる
- ◆ デジタル化や環境対応等、新たなニーズを捉え、会社の成長を通じて社会の発展に貢献する

Corporate Strategy

変革

1. 事業経営力強化
2. 財務戦略・
ポートフォリオ経営の進化
5. 人材戦略

成長

3. Strategic Focus
エネルギーソリューション、ヘルスケア・ニュートリション、
マーケット・アジア
4. 基盤事業の収益力強化と
新事業への挑戦

基盤

6. サステナビリティ経営/
ESGの進化



新型コロナウイルスの影響



具体的アクションプラン

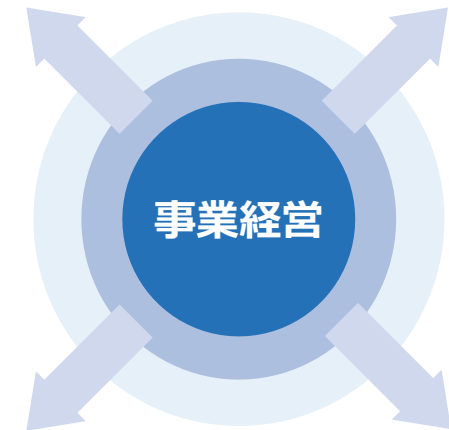
- ◆ 既存事業の維持・継続
- ◆ 顧客・パートナーとの関係維持
- ◆ 下方耐性向上
- ◆ デジタルを駆使した新事業創出

Corporate Strategy

1. 事業経営力強化

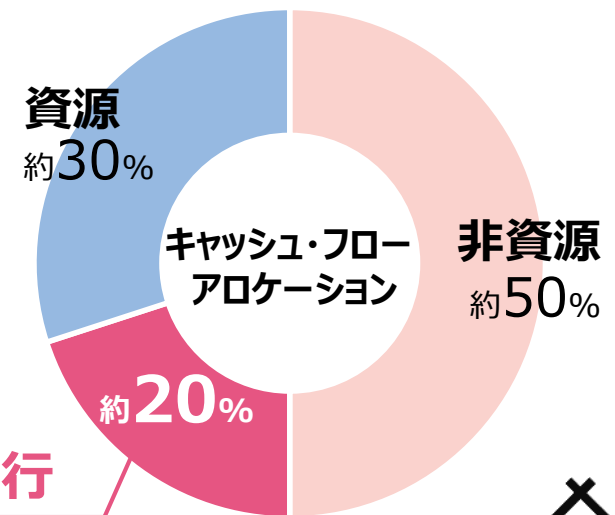
- ◆ 早期に成長軌道へ回復することが必要
- ◆ 既存事業の収益性向上が必要

- ◆ 主体的に関与できる事業へ経営資源を集中
- ◆ 横串組織を活用し、事業経営力強化を図る
- ◆ 事業経営人材の育成



2. 財務戦略・ポートフォリオ経営の進化

- ◆ 強固な財務基盤を維持
- ◆ 投資決定済案件の出資額、出資時期の徹底的な見直し



Corporate Strategy

3. Strategic Focus

- ◆ 当社総合力が活きる領域への経営資源の集中
- ◆ デジタル化、消費者へのパワーシフトを捉えた事業

過去からの取り組み

環境

LNG

再生可能
エネルギー

健康

病院事業

病院周辺
事業

エネルギーソリューション

天然ガス・インフラ・
再生可能エネルギースマートエネルギーサービス
気候変動対応に資する事業環境と調和する
社会をつくる

ヘルスケア・ニュートリション

病院・周辺事業

医療データ・
統合型ファシリティマネジメント
ニュートリション、フード・プロテイン安定供給の
基盤をつくる豊かな暮らし
をつくる

マーケット・アジア

デジタルエコノミー・DXの推進
消費者プラットフォーム
次世代モビリティ
新興国 及び 日本

360°

business innovation.



MITSUI & CO.

Corporate Strategy

4. 基盤事業の収益力強化と新事業への挑戦

- ◆「強いものをより強くする」戦略推進
- ◆「つくる」思考・行動様式の浸透と事業本部横断的な取り組みによる新事業創出への挑戦

金属資源

- ◆ 鉄鉱石事業基盤維持・拡充
- ◆ 原料炭ポートフォリオ良質化



エネルギー

- ◆ LNG事業の着実な進展
- ◆ 石油・ガス開発事業での生産開始

機械・
インフラ

- ◆ 事業ポートフォリオの良質化
- ◆ FPSO事業拡充



化学品

- ◆ トレーディング機能高度化
- ◆ 環境関連事業の推進



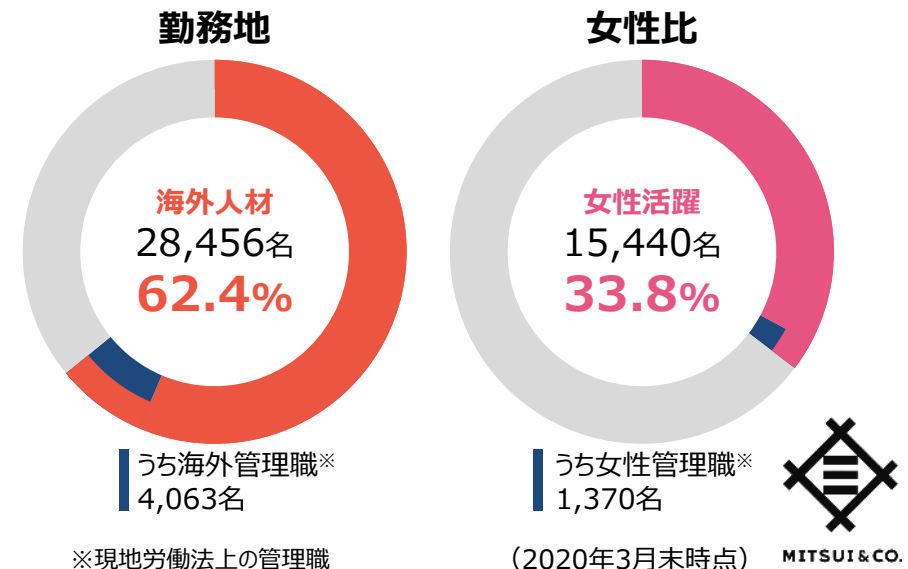
- ◆ グローバル・グループでの多様な「プロ人材」活躍推進、人材の総戦力化
- ◆ 事業経営人材の育成と活用
- ◆ ポストコロナも見据え、デジタルツール活用等を通じた次世代「働き方改革」の実現

取り組み

- ◆ 「強くて軽い鎧」攻めの人材再配置
- ◆ 女性の活躍推進 
- ◆ 「Change Leader Program」
- ◆ 新たな価値創造への取り組み

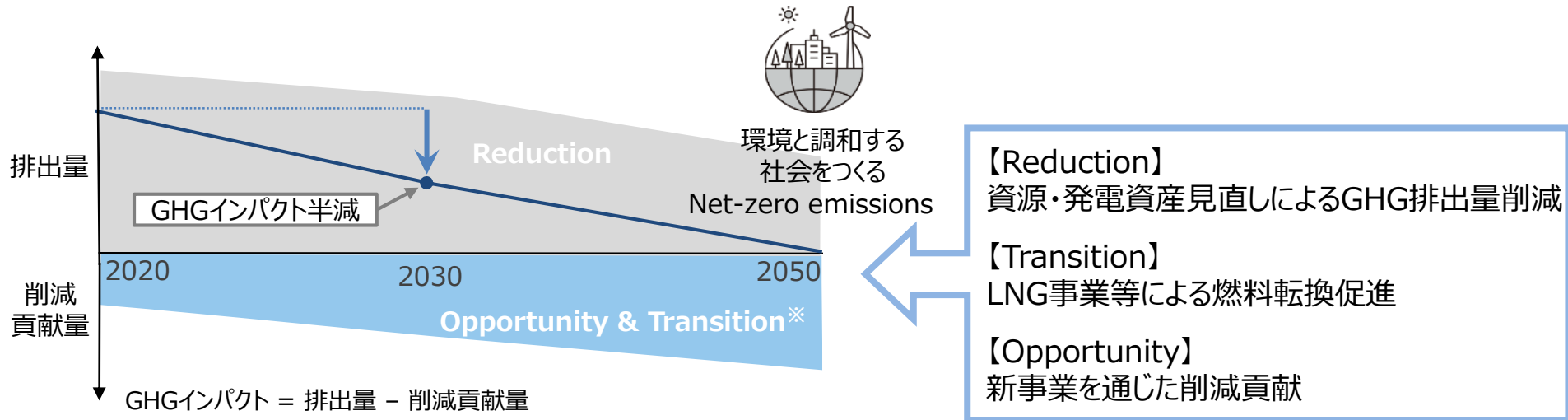


人員データ (連結従業員数45,624名)



Corporate Strategy

6. サステナビリティ経営/ESGの進化



※ Transitionについては、将来当社が自社でカウントし得る削減貢献量のみを想定

映像 「環境」への取り組み

LNG事業



再生可能エネルギー



社有林



定量目標

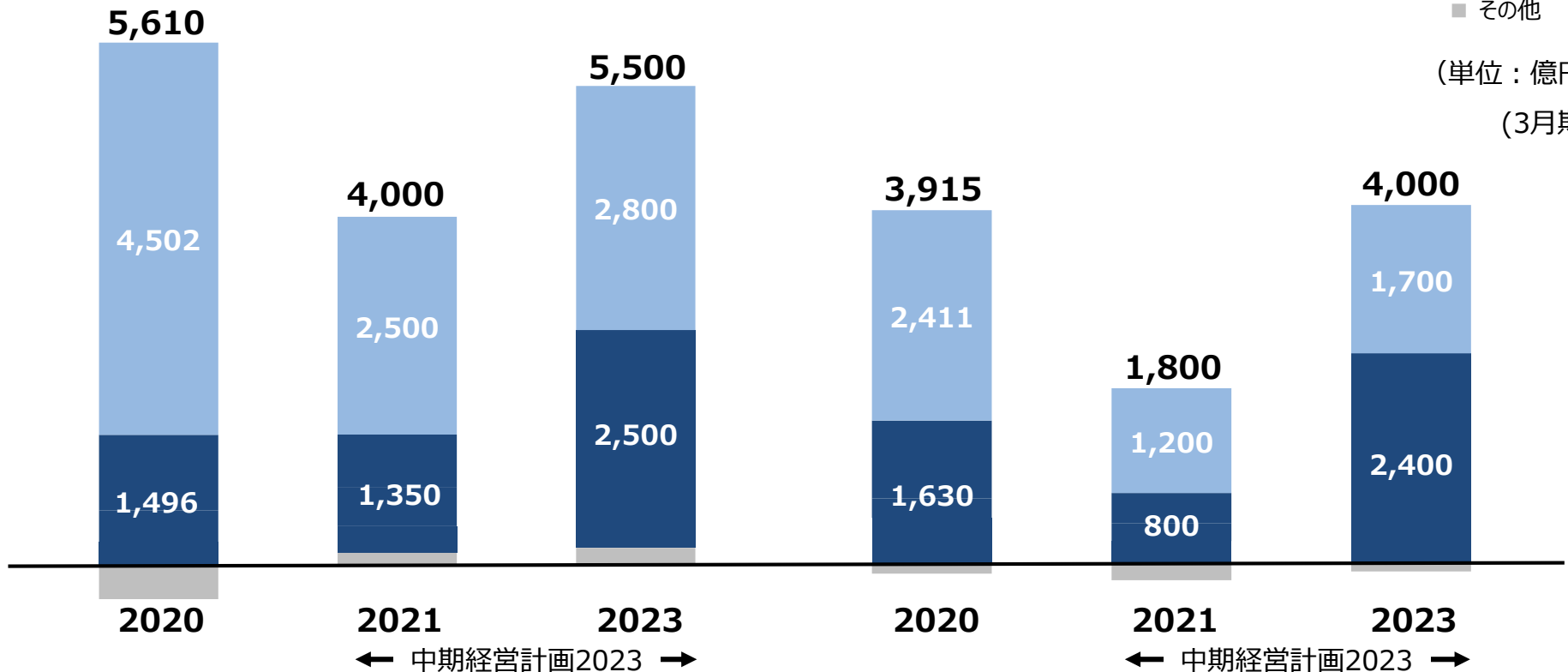
- ◆ 20/3期は減損損失計上するも、非資源分野で収益基盤を拡充、資源分野のキャッシュ創出力を堅持
- ◆ 21/3期はコロナ影響により減益を見込むも、「変革と成長」への取り組みを通して成長軌道への早期回復を目指す
- ◆ 23/3期目標は基礎営業キャッシュ・フロー5,500億円、当期利益4,000億円、ROE10%

基礎営業キャッシュ・フロー※

当期利益

■ 資源分野
■ 非資源分野
■ その他

(単位：億円)
(3月期)



※ 当社の定量目標指標で、営業活動に係るキャッシュ・フローから運転資本の増減に係るキャッシュ・フローを除いたもの
20/3期の基礎営業キャッシュ・フローは、リース負債の返済による支出額(絶対値)を減算した金額に修正済み

3.株主還元

株主還元方針

中長期的な株主還元方針

基礎営業キャッシュ・フロー※の向上を通じた配当の安定的向上、
自社株買い含む株主還元の引き上げを図る

配当

安定性・継続性を踏まえ、中経期間中は80円/株の下限を設定

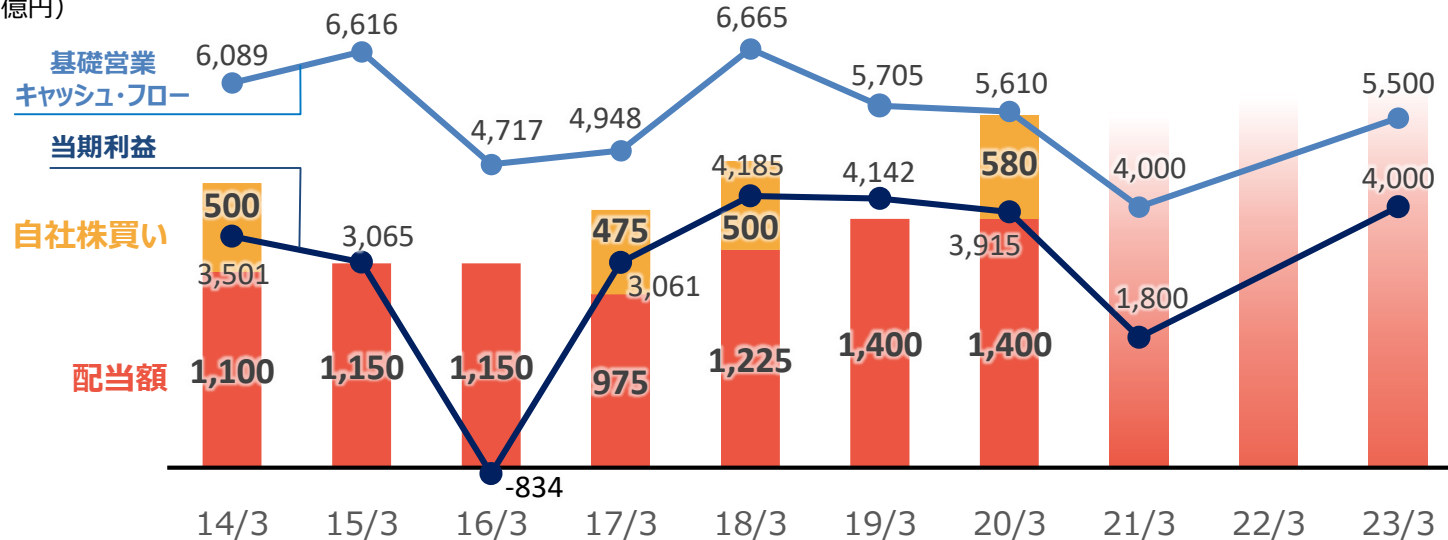
自社株買い

事業環境、市場動向を勘案の上、機動的に推進

配当金推移

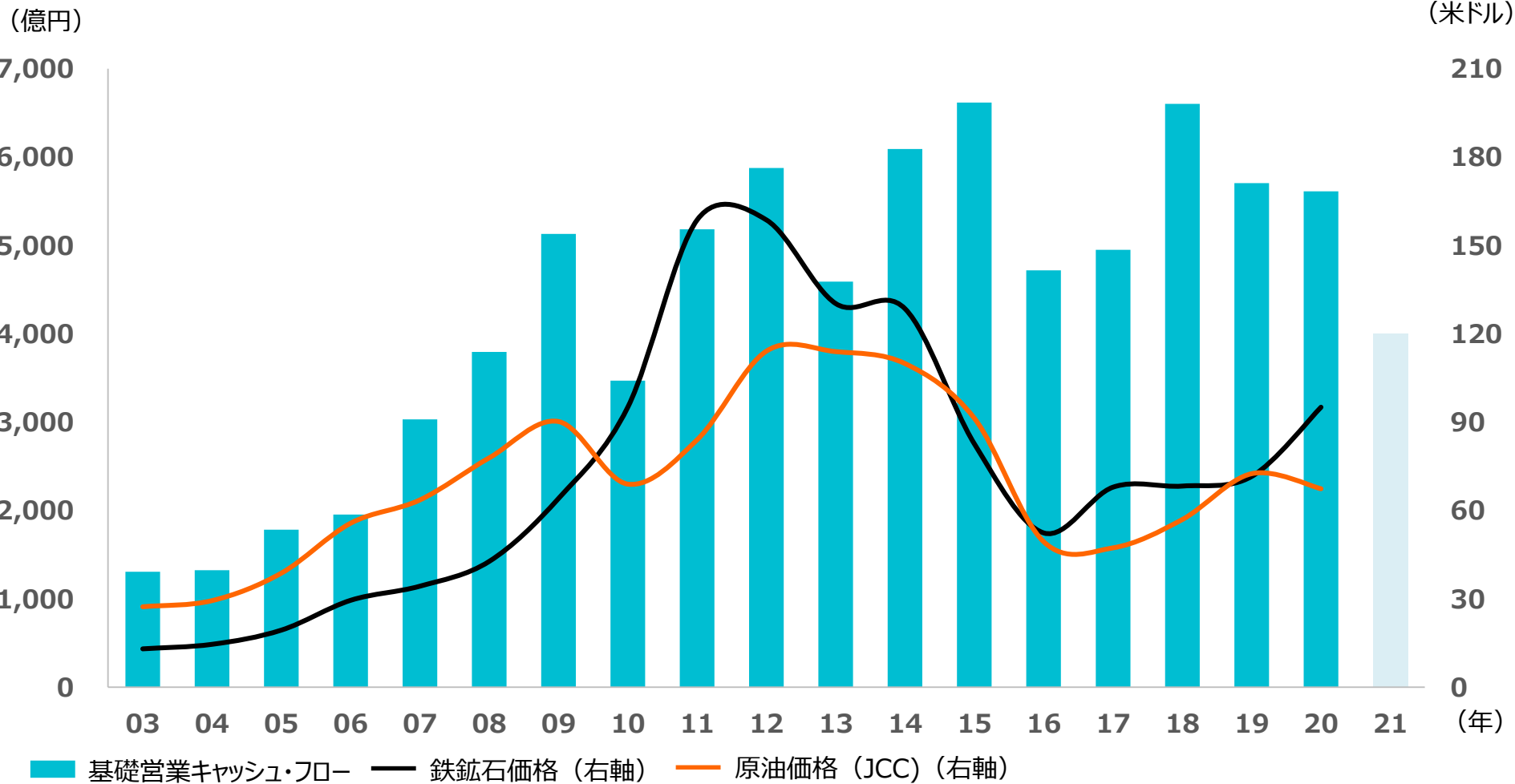


(単位：億円)



※ 当社の定量目標指標で、営業活動に係るキャッシュ・フローから運転資本の増減に係るキャッシュ・フローを除いたもの
20/3期の基礎営業キャッシュ・フローは、リース負債の返済による支出額(絶対値)を減算した金額に修正済み

基礎営業キャッシュ・フロー※と商品価格の推移



※ 当社の定量目標指標で、営業活動に係るキャッシュ・フローから運転資本の増減に係るキャッシュ・フローを除いたもの
 20/3期の基礎営業キャッシュ・フローは、リース負債の返済による支出額(絶対値)を減算した金額に修正済み

トータルリターン※推移



※ 特定の購入日から一定期間における投資のリターン
(価格変化によるリターン+配当によるリターン、期間中の配当は全て再投資する前提)

新経営理念

Mission

世界中の未来をつくる

大切な地球と人びとの、豊かで夢あふれる明日を実現します。

Vision

360° business innovators

一人ひとりの「挑戦と創造」で事業を生み育て、社会課題を解決し、成長を続ける企業グループ。

Values

「挑戦と創造」を支える価値観

変革を行動で

私たちは、自ら動き、自ら挑み、
常に変化を生む主体であり続けます。

多様性を力に

私たちは、自由闊達な場を築き、
互いの力を掛け合わせ最高の成果を生みます。

個から成長を

私たちは、常にプロとして自己を高め続け、
個の成長を全体の成長につなげます。

真摯に誠実に

私たちは、高い志とフェアで謙虚な心を持ち、
未来に対して誇れる仕事をします。

【メール配信サービスご登録のご案内】

ご登録頂くと、当社ウェブサイトに掲載される当社の重要な案件内容を、公表と同時に自動でメール受信できます。

携帯・PCアドレスの登録が可能です。

お手持ちの携帯やタブレットなどで下記のバーコードを読み取って頂くか、当社ウェブサイトの「IRメール配信サービス登録画面」にてご登録下さい。



IRメール配信サービス登録画面

<https://www.mitsui.com/jp/ja/ir/support/mail/index.html>

当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.mitsui.com/jp/ja/ir/index.html>

【ご注意】

本資料にて提供されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本資料およびこれらの情報の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

以下の事象が、当社及び連結子会社の事業、経営成績及び財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

- 景気減速による、貿易額や物流の減少
- 原油、鉄鉱石、石炭、銅などの商品市況の予想外の変動
- 為替変動
- 顧客や事業に係る与信リスクの顕在化
- 金利の変動
- 固定資産の資産価値の下落
- 国内外の株式及び債券相場下落による年金費用の増加
- 金融市場の混乱や当社格付け引き下げ、金融機関及び機関投資家の投融資方針変更
- 株式市場の大幅な下落による投資ポートフォリオの毀損
- 繰延税金資産の回収可能性の判断の変更に伴う繰延税金資産の減額
- 事業活動および資産が集中する特定地域における事業の低迷
- 収益性の低い関係会社の再編・撤退の遅延
- 第三者との合併事業あるいは第三者に対する戦略的投資の失敗
- 金属資源や石油・ガスの探鉱・開発・生産事業において、コストやスケジュール、埋蔵量が想定と異なること、及びオペレーターによる事業運営が適切に行われないこと
- 競合他社との厳しい競争
- 新規事業に対して投入すべき人的資源をはじめとする経営資源の制約による市場参入の機会喪失
- 環境関連の法令・規制
- 法令の変更や政府との契約条件の一方的変更
- 従業員による不正行為
- 適正な財務報告に係る内部統制が維持できないこと
- 気候変動や自然災害
- 予期せぬ情報システム障害や内外からの不正なアクセス・攻撃による情報セキュリティ事故

なお、旧三井物産と現在の三井物産には法的継続性はなく、全く別個の企業体です。

360° business innovation.



MITSUI & CO.